

会 議 録

会議の名称		令和6年度第3回桜並木学園コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和7年2月13日（木）開会 10:00 閉会 12:00		
開催場所		つくば市立並木小学校 会議室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	南 栄一、樽味 幸恵、増田 望、松本 和香、 大平 佳代、齋藤 樹恵、天谷 恭子 並木中学校：校長 額賀 敏行、教頭 高崎 満 教務主任 横山 賢裕 桜南小学校：教頭 春田 友則 並木小学校：校長 大村 千博、教頭 稲垣 章一 教務主任 末永 康子		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため		
議題		熟議①「学校評価から見えてきた学校のよさと課題」 熟議②「地域と学校が連携し、どのように子どもたちを育てるか」		
会議録署名人		確定年月日		年 月 日
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 前回の議事の確認 4 授業参観 5 熟議①「学校評価から見えてきた学校のよさと課題」 熟議②「地域と学校が連携し、どのように子どもたちを育てるか」 6 その他 ・コミュニティ・スクール推進会議に関わるアンケートについて 7 閉会			

<審議内容>

1 開会

南座長：ただ今から、令和6年度 第3回 桜並木学園コミュニティ・スクール推進会議を開会します。はじめに、会議を進行するに当たり書記を決めたいと思います。桜並木学園 末永康子先生 をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。→末永委員 承認
→お引き受けくださりありがとうございます。

2 挨拶

南座長：挨拶に移ります。はじめに、座長の私から御挨拶させていただきます。（座長が挨拶をする。）

続きまして、額賀学園長をお願いします。

額賀学園長：（桜並木学園の幸せな学校づくりアンケート結果から）

保護者の評価より、幸せな学校づくりの向けての学校づくりができていますと実感できました。つくば市学校HPには、年間多数のアクセスがあります。保護者の学校教育への関心が高いことがわかります。しかし、保護者が学校に対しどのようなニーズがあるのか、具体的にはわからない部分があります。本日の会議で是非話し合いをして、子ども達の笑顔のために、今後も桜並木学園の取組をしていきたいと考えています。いろいろな意見をいただければ幸いです。

3 前回の議事録の確認

南座長：本日は、桜並木学園の第3回CS推進会議の熟議等に入る前に、まずは第2回の会議内容について、要点を踏まえて振り返りをしたいと思います。

では、前回の会議録を御覧ください。前回の要点をまとめますと

① 本学園の児童の姿や教職員の取組について授業参観を通して理解を深めていく。

② 「地域と学校が協力して育てたい子どもの姿とは」

この2点を熟議テーマについて話し合いを深めました。会議録につきまして、何かご意見等ございましたらお願いします。

なお、詳しい内容に関しては、教育委員会のHPに掲載されていますので御確認ください。本日も、10:15から授業参観が予定されています。

4 授業参観（末永委員より授業参観の説明）⇒20分間の授業参観

5 協議

南座長：これより協議、熟議に移ります

まず始めに、桜並木学園の学校評価アンケートの結果について情報共有をしたいと思います。並木小学校、桜南小学校、並木中学校の順にご説明をお願いいたします。

桜並木学園の傾向

- ・地域に開かれた学校⇒HP等で発信 90%が満足

- ・学校の特色を表す項目について 高評価
- ・難しいことに挑戦する・いじめに対する早期対応に課題がある

【見えてきた各校の課題】

並木小より

- ・思いやりの心を育てることが大切
- ・挑戦する力、非認知能力の向上が必要

桜南小より

- ・難しいことに挑戦する⇒保護者の評価は低いが子どもは高い
- ・自ら学びたくなる授業づくりについて
- ・目指していることを保護者に伝えていくことが必要

並木中より

- ・学習形態等保護者にも説明が必要
- ・話し合いを通して考える授業
- ・難しいことに挑戦する力の向上が必要

熟議①「学校評価から見えてきた学校のよさと課題」(10:50~11:15)

「みんなの幸せを大切にし、自ら考え行動できる児童生徒の育成のために、学校、保護者、地域ができること」

熟議②「地域と学校が連携し、どのように子どもたちを育てるか」

(11:15~11:50)

南座長：続きまして、共有した学校評価を基に熟議を行います。進行の仕方を各学校でファシリテーターを立てて進行していただきます。大村校長先生に詳細について説明をお願いしたいと思います。皆さん、よろしいでしょうか。では、大村校長先生よろしくお願ひいたします。

大村校長：各校の学校評価アンケートから分析をしていきます。各校のよさ、課題を出し、その原因となることを学校・家庭・地域目線で探っていきます。

(1) ファシリテーターを中心に学校ごとにグループで話し合う。

意見を付箋に書き出し、ワークシートに張っていく。同じ意見は重ね、見えてくる項目ごとに分類していく。

(2) 情報共有及び意見交換

30分アイデアを出し合う、話し合い後、発表

【並木小】末永委員

・生き生きと学校生活を送っている児童が多い。思いやりのある優しい児童たちであるが、自分の思いや考えを表現することが苦手な子も多く、困り感や悩みを伝えることができずいじめの早期発見・対応につながらないケースが見られる。児童のSOSを発信しやすくするため、現在リーバーの「心の健康観察」を週1回の実施から毎日実施へと切り替えた。1か月を経過し、何件か児童の悩みをつかむことができ効果を実感してきている。保護者へもこのような取り組みをお伝えし、連携を図っていきたい。

・地域の方とのつながりをつくるために、来年度は並木まつりに学校も参加で

きたらと思っている。自己肯定感の低い中学年のつくばスタイル科の発表・発信の場にするのもよいかもかもしれない。

【桜南小】春田委員

- ・アンケートの結果より子どもと保護者の考えに違いがみられることが分かった。原因として学校の中の様子が見えづらいからなのではないかと考えた。
- ・今後、防犯対策に配慮して学校を地域の人たちに積極的に見に来てもらえるような仕組みづくりを考えていきたい。動画発信もよいかもかもしれない。

【並木中】横山委員

- ・個に応じた指導の必要性を感じる。一人一人に向き合う時間を多く持つ必要がある。
- ・高く目標設定をしてしまったため、たどり着かず、達成感を実感できないのではないかと。⇒振り返りを段階的に合わせて行うことで、小さな目標を積み重ねていけるようにする。
- ・学校のよさを知っていただく機会をつくり協力を促していく。

南座長：各学校のファシリテーターの皆さまどうもありがとうございました。

5 その他

南座長：最後に御出席のみなさんから何かありますでしょうか。

末永委員：事務局を代表して、申し上げます。

令和6年度の推進会議について、全日程を終了いたします。本年度、3回のコミュニティ・スクール推進会議の実施に際しまして、御協力ありがとうございました。来年度はコミュニティ・スクール協議会として新たなスタートを切ることになります。なお、委員の選出に関しては、1年ごとの任期となるため、後日御連絡させていただきます。その際は、「本年度活動してみたの感想や、御都合等も踏まえまして、お話を聞かせていただければと思います。」よろしくお願いたします。1年間会議の運営に御協力いただき、ありがとうございました。

6 閉会

南座長：本日の「協議」の内容は、以上になります。

また、本日の会議の様子を、つくば市教育委員会ホームページにて写真を掲載させていただきたいと思っております。差し支えのある場合は事務局までお申し出ください。よろしくお願いたします。

以上をもちまして、令和6年度 第3回桜並木学園コミュニティ・スクール推進会議を閉会いたします。

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。

令和6年度第3回桜並木学園コミュニティ・スクール 推進会議

日時:令和7年2月13日(木)

10:00~12:00

場所:並木小学校 会議室

次 第

1 開会

2 挨拶

- ・座長より
- ・学園長より

3 前回の議事の確認

- ・座長より

4 授業参観

- ・並木小学校教務主任より案内
- ・詳細は校舎案内図を参照

5 協議

- ・ファシリテーター主体(学校ごとに)
 - 熟議①「学校評価から見えてきた学校のよさと課題」
 - 熟議②「地域と学校が連携し、どのように子どもたちを育てるか」

6 その他

- ・事務局より
コミュニティ・スクール推進会議に関わるアンケートについて

7 閉会

会 議 録

会議の名称		第2回 桜並木学園コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和6年9月6日 開会 10:00 閉会 12:00		
開催場所		桜南小学校 CAI 室		
事務局（担当課）		生涯学習推進課		
出席者	委員	南 栄一、丸山 美知江、店曲 孝仁、山中 真弓 根本 寿史、樽味 幸恵、増田 望、松本 和香 大平 佳代、齋藤 樹恵、小川 友紀、天谷 恭子 並木中学校：校長 額賀 敏行 教頭 高崎 満 教務主任 横山 賢裕 桜南小学校：校長 奥沢 志乃 教頭 春田 友則 教務主任 漆原 英明 並木小学校：校長 大村 千博 教頭 稲垣 章一 教務主任 末永 康子		
	その他			
	事務局	生涯学習推進課課長：澤頭由紀子 生涯学習推進課参事：山口 健次 生涯学習推進課係長：飯島 遊 社会教育主事：村上 和宏 地域連携教育指導員：酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため		
議題		熟議「地域と学校が協力して育てたい子どもの姿とは」		
会議録署名人		確定年月日	令和 年 月 日	
会議次第	1 開 会 2 挨拶 3 前回の議事の確認 4 授業参観 5 協 議 熟議「地域と学校が協力して育てたい子どもの姿とは」 6 その他 ・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について 7 閉 会			

<審議内容>

1 開会

南座長：ただ今から、令和6年度 第2回 桜並木学園コミュニティ・スクール推進会議を開会いたします。

はじめに、会議を進行するに当たり書記を決めたいと思います。桜南小

学校漆原先生にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。
参加委員：お願いします。

南座長：お引き受けくださりありがとうございます。よろしくをお願いします。

2 挨拶

南座長：挨拶に移ります。はじめに、座長の私から御挨拶させていただきます。
(座長が挨拶をする。)

続きまして、額賀学園長お願いします。

額賀学園長：テーマ「地域と学校が協力して育てたい子どもの姿とは」に基づいてよろしくをお願いします。つくば市は、子どもの幸せを共通の願いとし、教育大綱の「一人一人の幸せ」を最上位目標としています。

私が子どもたちと学校生活を送っていて一番うれしいことは、生徒の笑顔を見られることです。笑顔で挨拶してくれたり、コミュニケーションを取ってくれたりすると、うれしい気持ちになります。

数年前の新型コロナによる休校明けでは、久しぶりの部活動の後に声をかけた際の笑顔の返しが今でも目に浮かびます。そんな笑顔がたくさん見られる桜並木学園であってほしいと思いますし、将来、どんな場所でも笑顔であってほしいと願っています。それでは、協議よろしくをお願いいたします。

3 前回の議事の確認

南座長：本日は、桜並木学園の第2回コミュニティ・スクール推進会議の熟議等に入る前に、まずは第1回の会議内容について、要点を踏まえて振り返りをしたいと思います。

では、進行に戻ります。別紙1（前回の会議録）を見てください。前回の要点をまとめますと

- ①委員の自己紹介から座長、副座長選出
- ②学校グランドデザイン説明と教育活動紹介
- ③熟議「地域から見た子ども、学校から見た子ども」

などについて話を深めました。

なお、詳しい内容に関しては、市のHPに掲載されますので御確認ください。

※熟議「地域から見た子ども、学校から見た子ども」

短い時間で恐縮ですが、会議録につきまして、何かコメント等ございましたらお願いいたします。

(なし)

よろしいでしょうか。何かありましたら、後日でも結構ですので、各学校にでもご連絡いただければと思います。

本日ですが、10:30 から授業参観が予定されております。この授業参観は、この委員のみとなり、傍聴者の方は御参加いただけません。
(傍聴者なし)

春田教頭：10:35 から3時間目となっています。少し時間がありますので、このまま協議を始めておいて、10:30 になりましたら協議の時間を十分にとるために、参観に各教室を回ります。各教室 30 秒ほどとなり、全教室を回ると 20 分程度になります。

4 授業参観

(授業参観 20 分程度)

5 協議

南座長：これより、熟議に移りたいと思います。

本日の熟議は「地域と学校が協力して育てたい子どもの姿とは」のテーマとなっております。熟議を進行するにあたり、ファシリテーターを教頭先生にお願いしたいと思います。具体的・詰めた内容を話し合っていたきたいのと、具体的にどうコミュニティ・スクールを活用していくかを話し合っていたいただければと思います。

皆さん、よろしいでしょうか。

では、教頭先生よろしくお願いいいたします。

春田委員：

- ・各学校が持ってきたパソコンでパワーポイントを立ち上げて記録し、後でモニターを使って共有してください。
- ・グループ協議後、各グループの話合い内容を発表します。

【桜南小】

・桜南小から

○育てたい姿→学校や地域など、その環境を愛し、笑顔で生きていくことができる。

○今後のコミュニティ・スクールの活動について→専門職を生かせる活動

○児童が笑顔で過ごせる安心・安全な環境をコミュニティ・スクールでつくりたい。

・コミュニティ・スクールの活動を児童にも見える化

・例：それぞれの場所で看板などを使って紹介し、互いのメリットに。

○専門職を生かせる活動

・様々な仕事・専門をもつ人材がいる。

・学校の業務で、先生以外ができること。

例：講師役(刈払機使用)、樹木伐採、造園、遊具の塗装、防災など
今後のコミュニティ・スクール活用にあたって・期待される付加成果①

○地域の学校・児童への関心を高める。

- ・学校はより伝わりやすい情報公開を心がける。（学校は地域に浮かぶ舟）
 - ・スモールステップの活動により、PTA活動へのハードルも下がる。
- 子どもが大人になってからも地域・環境を愛する心情を育てる。
- ・大人たちが協力して取り組む姿を見せる。（キャリア意識の向上）
- ※取組の「姿」を見せ「成果」を紹介

【並木中】

- 育てたい生徒像
- ・責任をもって行動できる生徒
 - ・自分で考えて行動できる生徒
 - ・困ったときに相談できる生徒
- 「子どもを守る 110 番の家」の場所を生徒が知らないのではないか。
- 社会学習（地域の方との交流）が少ない。
- ・コミュニケーションの場が変わってきている。
（対面→オンライン）
 - ・地域の方との関わりで、うまく活用していくことが大切。
 - ・大人になったときに、「誰かに聞く」という力は、とても大切。同時に、「伝える力」も大切。
→並木中の課題の一つである。
 - ・普段から大人と話せるような環境づくり。
 - ・地域の方が声掛けをしても、不審者と捉える生徒もいる。
- ボランティアの募集の仕方を変える。
- ・地域の回覧板を活用する。
→地域コーディネーターが主体として動く。
 - ・地域の中で、やりたい方もいらっしやるはず。
→情報を受け取る方法がない。
 - ・明らかに情報発信が少ない。
→SNSの活用
 - ・まずは環境を作る。

【並木小】

- どういう子どもに育てたいか。
- ・幸せな人生を送るために。
 - ・自ら課題を解決するために。
 - ・困難に負けない。
- 保護者や地域は何を望んでいるかを把握する。
- ・学校からの情報を望んでいる。
 - ・公園を中心としてつながれる可能性がある。
 - ・以前は保護者が剪定など、物理的アプローチもあった。
 - ・どんなアプローチも意味があり、継続が重要。
- 相互に学び合える

- 保護者でない地域の方も学校教育パートナー制度に登録できるといい。
- 学校は、本当は積極的に情報発信したい。
- でも学校も地域の自治組織がよくわからない
- 並木まつりは自発的な集まりで、つながり構築の可能性
- 目指したい子どもの姿について。
 - ・「自ら考える力」
 - ・ChatGPT に負けない、生み出す力
 - ・非認知能力を高める。
 - ・ペーパー至上主義も両輪。

春田委員：「以上で熟議を終わります。」

南座長：春田先生、各学校の先生方ありがとうございました。これで熟議は終了になります。

6 その他（11：30～11：45）

南座長：この後ですが、今日の熟議で話し合ったことについて、御出席のみなさんから何かありますでしょうか。

南座長：最後に、次回開催予定日等について、春田先生、よろしくお願ひします。

春田委員：本年度3回目のコミュニティ・スクール推進会議についてご連絡します。次回ですが、第3回は並木小学校で令和7年2月13日10時00分からの予定です。詳細は、追って文書等で御連絡したいと思います。

本日の「協議」の内容は、以上になります。

また、本日の会議の様子を、つくば市教育委員会ホームページにて写真を掲載させていただきたいと思ひます。委員の皆様、よろしいでしょうか。よろしくお願ひいたします。

以上をもちまして、令和6年度 第2回桜並木学園コミュニティ・スクール推進会議を閉会いたします。

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

令和6年度 第3回

桜並木学園コミュニティ・スクール推進会議

令和7年2月13日（木） 10:00～12:00



第2回会議内容（会議録より抜粋）

熟議テーマ

「地域と学校が協力して育てたい子供の姿とは」

桜南小学校

- ・地域や学校など、その環境を愛し、笑顔で生きていくことができる。

並木小学校

- 幸せな人生を送ってほしい
- 自ら課題を解決できるようになってほしい
- 困難に負けないようになってほしい

並木中学校

- ・責任をもって行動できる生徒
- ・自分で考えて行動できる生徒
- ・困ったときに相談できる生徒

授業参観 10:15～10:35

① 10:15～10:25 低学年、特別支援学級

② 10:25～10:35 中学年、高学年

①、②共に時間内は自由に移動して参観できます。

協議：学校評価アンケートの結果について

桜南小学校→並木小学校→並木中学校の順で

- ①地域に開かれた学校づくりに関する項目について
- ②学校の特色を表す項目について
- ③学校の課題となる項目について

桜南小学校

- ①地域に開かれた学校づくりに関する項目について
- ②学校の特徴を表す項目について
- ③学校の課題となる項目について

並木小学校

- ①地域に開かれた学校づくりに関する項目について
- ②学校の特色を表す項目について
- ③学校の課題となる項目について

並木中学校

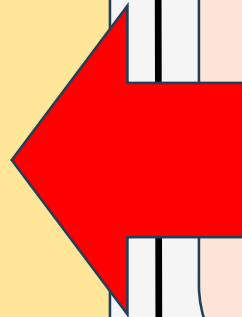
- ①地域に開かれた学校づくりに関する項目について
- ②学校の特色を表す項目について
- ③学校の課題となる項目について

熟議①「学校評価から見えてきた学校のとよさと課題」

よさ

課題

原因



熟議②「地域と学校が連携し、どのように子どもたちを育てるか」

よさ

原因

課題

熟議②で考えること！
ここです！

解決のための方策

その他：事務局「生涯学習推進課より」

コミュニティ・スクール協議会(推進会議)に関するアンケート(学園名:) どちらかに○(地域住民・教職員)

項目	あてはまる部分にチェック(○)を入れてください	あてはまる	どちらかという あてはまる	どちらかという あてはまらない	あてはまらない	判断できない
1	学校運営の基本方針の承認にあたり、協議会委員(推進会議の構成員)による議論を行う					
2	学校運営に関して率直な意見を述べる機会がある					
3	教職員の任用について提案や意見を述べる機会がある					
4	地域住民側からの意見や提案が持ち込まれることがある					
5	子どもの意見を反映させる機会や仕組みがある					
6	協議会(推進会議)内は、忌憚なく意見を出し合える雰囲気がある					
7	学校、家庭、地域全体で育てたい子ども像が共有されている					
8	校長等、教職員の異動に関わらず、継続して議論ができる体制がある					
9	協議会(推進会議)で議論すべき課題の選定、議論の企画段階から関わることもある					
10	学校側の提案事項を承認するだけでなく、より良い学校運営のために建設的に議論することがある					
11	協議会(推進会議)で決定して、実施した取組に対して、振り返りや内省を行う時間がある					
12	協議された事項の実行にあたり、学校長は期待される役割を果たしている					
13	議論の結果、各主体(学校・保護者・地域の大人等)が実行すべきこと・役割分担が明確になっている					
14	学校の問題や悩みは、協議会委員(推進会議の構成員)の中で共有されている					
15	協議会(推進会議)での協議内容について、十分な情報発信が行われている					
16	当事者意識をもち、学校運営に参画したと感ずることができる					
17	協議会(推進会議)への参加回数をご記入ください					回
18	その他 ご意見があればご自由に記入してください(裏面もご使用ください)					